

宮城県大崎保健所栗原支所

感染症発生動向調査情報

(令和7年10月17日発行)

1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。＊は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾 病		疫学週			
		38 週	39 週	40 週	41 週
		9月15日 ～ 9月21日	9月22日 ～ 9月28日	9月29日 ～ 10月5日	10月6日 ～ 10月12日
急性呼吸器感染症(ARI) インフルエンザ＊ 新型コロナウイルス感染症＊	急性呼吸器感染症(ARI)	504 100.80	581 116.20	650 130.00	668 133.60
	インフルエンザ＊			1 0.20	5 1.00
	新型コロナウイルス感染症＊	53 10.60	59 11.80	45 9.00	35 7.00
小児科定点	RSウイルス感染症＊	2 0.67	4 1.33	1 0.33	
	咽頭結膜熱＊	1 0.33			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎＊	6 2.00	5 1.67	5 1.67	4 1.33
	感染性胃腸炎	4 1.33	5 1.67	5 1.67	9 3.00
	水痘	4 1.33	10 3.33	8 2.67	4 1.33
	手足口病	2 0.67	1 0.33	2 0.67	
	伝染性紅斑	5 1.67	4 1.33	6 2.00	3 1.00
	突発性発しん	1 0.33	1 0.33	2 0.67	1 0.33
	ヘルパンギーナ＊	9 3.00	5 1.67	1 0.33	2 0.67
	流行性耳下腺炎		1 0.33	1 0.33	
眼科定点	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎				
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)				
	マイコプラズマ肺炎	2 2.00		1 1.00	2 2.00
	無菌性髄膜炎				
拡張疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)	10	7	6	16
	川崎病		1	1	1
	不明発疹症	3			

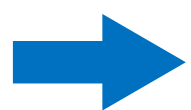
大崎保健所管内定点数:内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原支所の過去2週間における対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	—	—	—
備考			

【医療機関の皆様へ】

・感染症法に基づく、
医師の届出に必要な
アカウントの発行及び
システムのログインは
こちら



アカウント発行

システムログイン



3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

【全数報告疾病】※栗原支所管内

- ・ 2類:結核(潜在性結核感染症) 女1名
- ・ 3類:腸管出血性大腸菌感染症 女1名

【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- ・ インフルエンザ、マイコプラズマ肺炎は注意が必要です。
- ・ 引き続き、基本的な感染対策を徹底してください。

【集団発生状況】※栗原支所管内

- ・ 新たな集団発生はありません。

【お知らせ】

- ・ 冬季は感染症が多く発生する時期です。医療機関や社会福祉施設等におきましては、下記基準を満たす場合は集団発生の届出をお願いします。保健所職員が早期終息に向けてお手伝いいたします。

①同一の感染症若しくは食中毒による又はそれらによると疑われる死亡者又は重篤患者が1週間以内に2名以上発生した場合。

②同一の感染症若しくは食中毒の患者又はそれらが疑われる者が10名以上又は全利用者の半数以上発生した場合。

③①及び②に該当しない場合であっても、通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合。

- ・ 報告は電子申請にて、右記QRコードから可能です。



【感染症コラム～带状疱疹～】

- ・ 带状疱疹は、過去に水痘(水ぼうそう)にかかった時に体の中に潜伏した水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより発症します。体の左右どちらかの神経に沿って帯状に水疱(水ぶくれ)が出現することが特徴です。
- ・ 皮膚症状の出現2～3日前から痒みもしくは痛みが出現し、初期は皮膚が赤く腫れます。約1週間後に水疱が多発し、発熱・頭痛・リンパ節腫脹などの症状も出現するようになります。通常2～4週間で水疱が破れて痂皮化します。
- ・ 合併症として、带状疱疹後神経痛という神経痛があります。疼痛が3か月以上続き、带状疱疹患者の10～50%に出現し、高齢になるほど多くみられます。
- ・ 水疱には水痘带状疱疹ウイルスが含まれており、水痘ワクチン未接種者など免疫を持たない人が触れると、水痘を発症することがあります。感染対策として、発疹はガーゼ等で覆い、水疱に触れた場合は石鹸を用いて手洗いを行いましょう。
- ・ 带状疱疹の有効な予防策としてワクチン接種があります。65歳以上の方は定期予防接種の対象で、栗原市で費用を助成しています。詳細は栗原市市民生活部健康推進課または、各総合支所保健推進室へお問合せください。